

第541回 テレビ岩手放送番組審議会

1. 日 時 2018年5月15日(火) 午後1時30分～
2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室
3. 委員総数 9名

出席委員 6名

| | |
|-------|--------|
| 委員 長 | 五日市 知香 |
| 副委員 長 | 三浦 茂樹 |
| 委員 | 恒川 かおり |
| 委員 | 佐藤 俊彰 |
| 委員 | 佐藤 健志 |
| 委員 | 高橋 司 |

欠席委員 3名

| | |
|----|-------|
| 委員 | 大橋 綾子 |
| 委員 | 大内 敦 |
| 委員 | 加藤 千晶 |

社側出席者

| | |
|-------|----------------|
| 檜崎 憲二 | (代表取締役会長) |
| 榎野 信治 | (代表取締役社長) |
| 山口 英二 | (専務取締役) |
| 青山 尚之 | (常務取締役 兼 編成局長) |
| 池田 学 | (営業局長) |
| 柴柳 二郎 | (報道制作局長) |
| 桑島 広実 | (報道制作局制作部部长) |
| 澤藤 寛明 | (報道制作局制作部副部长) |

| | |
|-----|-----------------------|
| 事務局 | 遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長) |
| | 平山 亜希子 (編成局編成業務部副部长) |

4. 議 題

1. 4/27 (金) 19:00～19:56 M o v i n ' いわて (ムービングいわて)

「サクラ物語」

2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側意見

○「サクラ物語」というタイトルだったので、桜の県内の名所を教える番組なのかなと予想したが、実際はそれだけではなくて、新しい情報、知識を得ることができた非常に中身の濃い番組だった。

○盛岡二高の箏曲部の箏の演奏と桜の映像がよくマッチしていた。選曲もよく、映像も空撮やライトアップ等で工夫があり感動的な映像だった。見終わって大変清々しく感じる番組だった。

○冬が厳しい地域であるだけに、春の喜びがひとしおで、こういう形で美しい景色だなどこの土地の風土の良さを感じさせていただけの番組だった。全体の構成はアラカルトでいろいろな形が入っていたわけだが、緩急のメリハリが心地良くて、最後まで飽きずに見ることができる番組だった。

○桜の並木を植えることが新しい震災遺構になると話されていた。震災遺構というと、被害があったものを残すものという先入観で考えがちだが、逆に風化を防いで記憶を伝えていくために、作り育てていくという発想に驚いた。

○桜をキーワードにして、人・思い・取り組みなどメリハリのある構成になっていた。出演者の語り口が自然体ですごく良かった。

○視聴者のメールを紹介して視聴者参加型の番組づくりをされていてよかった。

○桜の中継で、統合して廃校になる本寺小学校を選んだ理由はなにか、もし理由があれば知りたい。

○出演者のコメントが省略されて字幕スーパーが出ていたのはなぜか。

局側意見

○桜を追いかけて撮るのは意外と大変で、今回桜が咲いているところが本寺小学校だったというところもあった。

○字幕については、意味を考えて言葉を選択していった。

○今後もメールを紹介するなどSNSを使った視聴者参加型の番組を作っていきたい。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ①自社放送 5月22日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>